

# 徳島子どもと教育

徳島県教職員の会  
〒771-0017 徳島市川内町鶴島115  
黄金ビル 徳島労連事務所内  
TEL 088-665-6644  
FAX 088-665-2117  
携帯 090-2891-5189  
eメール [dp12287892@pf.lolipop.jp](mailto:dp12287892@pf.lolipop.jp)  
2018年6月10日 No.228

## 教員増・少人数学級等を求める 教育署名を県議会に提出

教職員の会などで組織している「ゆきとどいた教育をめざす徳島県連絡会」は6月7日、「徳島でゆきとどいた教育を求める請願書」に賛同する約1000名の署名を徳島県議会に提出しました。

この署名は教職員増や少人数学級の早急な実現、津波時の避難場所の確保、給食費などの義務教育無償化を国にはたらきかけることなどを求めるものです。

## 定年延長問題についてご意見を！（討議資料送付）

政府は定年延長に向けた制度設計を進めていますが、その全貌は明らかにされていません。こうしたなか全教が、政府の「論点整理」やマスコミ報道を参考にしながら討議資料を作成しましたので、同封しています。

定年延長問題などでのご意見がありましたら、お寄せください。

## 「平和を守る、憲法まつり」に500人

「安倍9条改憲NO！徳島市民アクション」主催の「平和を守る、憲法まつり」が、5月3日の憲法記念日に徳島市内で開催され、約500人が参加しました。

各団体の挨拶や寸劇の後、「9条壊すな憲法守れ」などのコールをしながら市内をデモ行進しました。



寸劇の様子



パレードに出発する参加者

## 文部科学省前事務次官 前川喜平さん 大いに語る ～教育・憲法・加計……未来・希望～

「前川さんを徳島に～女性の会」主催の前川喜平元文部科学省事務次官の講演会が5月12日に開催され、約1000名の聴衆で、第2会場まで超満員になりました。

教職員の会の会員も多数が会場に足を運びました。その中の二人の方に感想を寄せていただきました。



**講演会の様子は、YouTubeで視聴可能です。5月末現在、視聴回数3万5千回を突破しています。**

今回の講演で、「すべての子どもが平等に教育を受ける権利がある」ということについて深く考えさせられました。学校で働き始めてから、教育の現場にいて初めて分かることもたくさんありましたが、講演を聞き、改めて各家庭の経済格差が教育を受ける環境の格差になってはいけないということを感じました。また、政治と教育は深く関連していることを実感したので、今の政権の方針や発言にも今まで以上に目を向け、勉強していきたいです。高校「社会科」の授業内容が変わっていくということで、「社会科」は自分の指導教科ではありませんが、子どもたちの考え方や生き方に大きく影響していくものなので、今後さらに注目していきたいです。（徳島市ブロック：I）

「現憲法では『親の義務』になっている義務教育を『国の義務』にしたい」。前川氏は、子どもの教育は国が責任をもって行うべきだという強い思いを持っているという立場で、こう述べました。憲法に保障されている「教育の機会均等」を尊重すれば、こうあるべきだという発想のスケールの大きさに感心しました。中央で教育行政のトップにいるような人の中にも、憲法レベルで国や教育のあり方を考えている人がいるのだと思いました。同時に、大臣の顔色ばかりを気にして「付度（そんたく）」している役人ではなくて、氏のように気骨があって、文字通り憲法を土台に据えて行政をつくっていけるような官僚が増えたら、日本の教育はもっともっと良くなると感じました。（特別支援教育ブロック：H）

**今年の教職員の会の総会は、8月18日(土)午後、徳島市ふれあい健康館で開催。詳細は、次号でお知らせします。ご予約に入れてください。**